

関係各位

高知県病虫害防除所長

令和 5 年度病虫害発生予察技術情報（第 6 号）

果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ）の発生について

県内 2 か所に設置している予察灯において、9 月第 1～第 5 半旬のチャバネアオカメムシ（写真 1）の誘殺数は、南国市廿枝で 46 頭（平成 13.1 頭）、四万十市竹島では 48 頭（同 17.0 頭）と平成と比べ多くなっています（図 1）。また、同期間のツヤアオカメムシ（写真 2）の誘殺数は南国市廿枝 16 頭（平成 27.3 頭）、四万十市竹島 29 頭（同 21.8 頭）と平成と大きな差はないものの、いずれも増加傾向がみられます（図 2）。県内 4 か所に設置した果樹カメムシ類のフェロモントラップにおける誘殺数は平成よりも少なく推移しているものの、四国地方の向こう 1 か月の気象予報（9 月 21 日高松地方気象台発表）では晴れの日が多く、気温は平成よりも高いと予想されていることから、本虫の活動に好適な条件が継続すると考えられます。

今後、本虫がナシ、カキ、カンキツなどの果樹園に飛来し、果実被害が発生する恐れがありますので、下記に注意して園地への飛来状況を早期に把握し、被害防止に努めてください。

記

- 1 果樹カメムシ類の飛来時期、飛来量は地域や園地による差が大きいため、園内外をこまめに見回り、早期発見に努めるとともに、飛来が確認された場合には、直ちに薬剤による防除を実施してください。
- 2 園地への飛来は、曇天で夜温の下がらない日に多くなる傾向があります。なお、夜温が低下すると飛来数は減少しますが、日中の気温が高いと加害は続くので注意してください。
- 3 台風通過後や強風の後には、風であおられたカメムシが一時的に多く飛来することがあるので注意してください。
- 4 果樹カメムシ類のフェロモントラップによる誘殺数の推移は、高知県病虫害防除所のホームページ（<https://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/info/dt1.php?ID=4712>）に掲載しているので参考にしてください。また、薬剤の選定にあたっては、県の「病虫害防除指針」（<http://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/haishinfile/list/kochi>）を参照するとともに、薬剤の使用にあたっては、農薬使用基準を遵守してください。

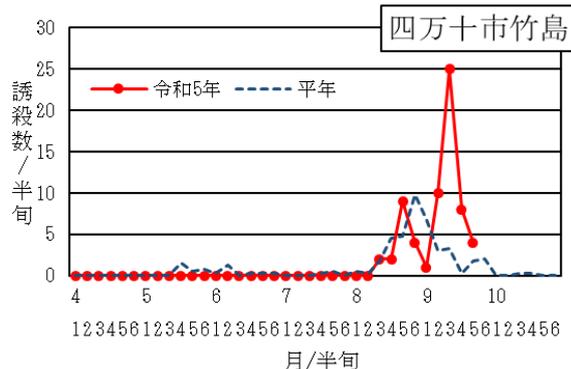
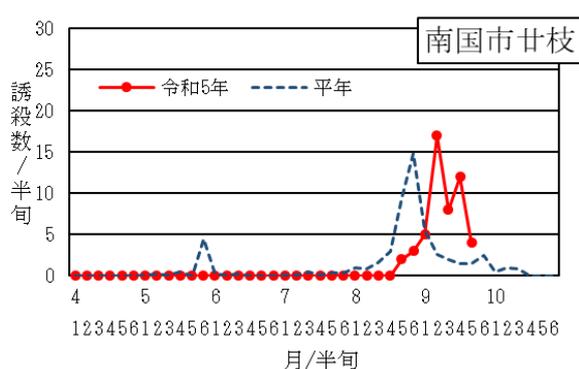


図1 チャバネアオカメムシの予察灯への誘殺数

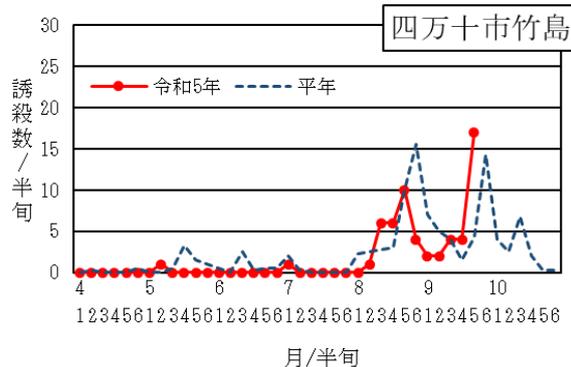
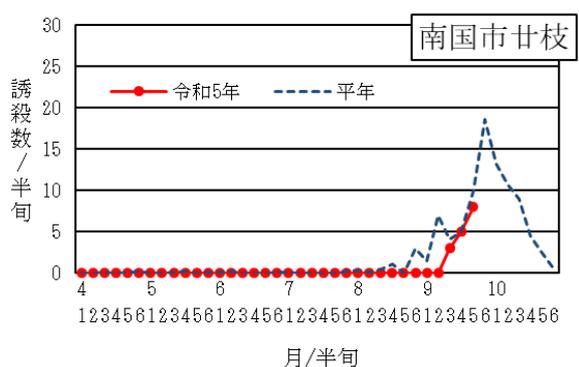


図2 ツヤアオカメムシの予察灯への誘殺数

注) 南国市廿枝の平年値は平成 25 年～令和 4 年の、四万十市竹島は令和元年～4 年の平均。



写真1 チャバネアオカメムシ



写真2 ツヤアオカメムシ

お問合せは、病害虫防除所(TEL : 088-863-1132)または環境農業推進課(TEL : 088-821-4861)まで